

|           |  |       |       |
|-----------|--|-------|-------|
| 講義名       | 障害者福祉論   |       |       |
| 科目区分      | 学部フリーゾーン   |       |       |
| 担当教員      | 藤本 次郎  |       |       |
| 開講期・曜日・時限 | 後期 木曜日 1時限   |       |       |
|           | 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / |       |       |
| 履修開始年次    | 2年生  | 単位数   | 2     |
|           |  | 講義コード | 41058 |

### 主題と概要

わが国の社会福祉のなかで、障害者福祉の重要性が年々高まっている。障害者福祉理念の変遷、障害者福祉サービス体系の変化、特に障害者自立支援法（現障害者総合支援法）の施行以降、障害者福祉に関わる者にとっては、より高度な専門性を求められる時代になってきたといえる。

本講義では、障害者支援の専門職に求められる障害者自立支援制度を中心とした専門的知識と、具体的支援に必要な支援についての基礎知識の習得を目指す。

### 到達目標

- ・ 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や様々な福祉需要について説明することができる。
- ・ 障害者総合支援法の概要について説明することができる。
- ・ 障害者支援にかかる様々な法制度の概要について説明することができる。
- ・ 障害者支援にかかる専門職、および組織、団体の役割とその連携についての説明することができる。
- ・ 習得した知識を障害者支援に応用することができる。
- ・ 社会福祉士国家試験に必要な障害者自立支援に関する知識が習得できる。

### 提出課題

- ・ 講義ごとにコメントシートの提出を求める。

### 評価の基準

- ・ 受講態度と講義ごとのコメントシートで30%、期末試験で70%の配分とする。

### 履修にあたっての注意・助言他

- ・ 社会福祉士国家試験受験資格の必須基礎科目である。
- ・ この科目の前提となる知識の習得のため「障害者福祉入門」を履修しておくことが望ましい。
- ・ また、より理解を深めるためには、日々報道番組の視聴や新聞の購読を通して、社会の動向をチェックしておくことを推奨する。
- ・ 体験的理解を深めるためには、福祉現場でのボランティア活動を推奨する。

### 教科書

- ・ 使用しない。

### プリント資料及び参考文献

- 〔プリント資料〕
- ・ 講義ごとに資料を配布する。
- 〔参考文献〕
- ・ 社会福祉士養成講座編集委員会編「新・社会福祉士養成講座14 障害者に対する支援と障害者自立支援制度 第5版」中央法規

### 授業計画

障害者福祉の意味と対象者  
 障害の概念と障害者福祉の基礎理念  
 障害者を取り巻く社会状況と障害者の生活実態  
 障害者福祉に関わる法体系  
 障害者福祉に関わる法体系  
 障害者福祉の変遷と新たな障害者福祉施策のポイント  
 障害者総合支援法（サービスの概要・自立支援給付）  
 障害者総合支援法（支給決定のプロセス）  
 障害者総合支援法（自立支援医療・補装具・相談支援等）  
 障害者総合支援法（地域生活支援事業）  
 障害福祉計画・苦情解決・審査請求など  
 障害児に対する支援  
 行政機関・支援施設・その他の機関の役割  
 障害者支援にかかわる専門職とその役割  
 障害児・者の相談援助活動の実際

### 予習・復習

予習：日頃から新聞の購読、テレビ等のニュース・報道番組等の視聴することを心がけ、わが国の障害者福祉の現状についての基礎知識を身につけておくこと。可能であれば、障害者施設等の見学や障害者対象のボランティア活動に参加し、障害者支援の現状を知るとともに障害者との交流を経験しておくこと。

復習：：授業中、トピックス毎に、重要なポイントやキーワードを指摘するので、配布した資料を基に知識を整理し理解

### 備考